



# どうにかする力

泗水小学校だより  
R4. 12. 27(火)  
No. 38  
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに  
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～



※左のQRコードを読み取ると泗水小HPに移動します。随時更新中です。

## 各ご家庭でよいお年をお迎えください

冬休みが始まって3日間がたちました。子どもたちは、ご家庭で元気に過ごせているでしょうか。学校は明日が閉庁日ですので、今日が仕事納めになります。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年も泗水小の教育活動への御協力本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。よいお年をお迎えください。

## 立派な門松をたてていただきました

12月20日(火)に、竹細工クラブの指導で大変お世話になっている實田照男様に、今年も門松を作っていただきました。当日は、竹細工クラブの6年生も集合して、最後の仕上げをお手伝いしました。正門に設置した門松は、真っすぐ空に向かって竹が伸びており、子どもたちの健やかな成長を祈る思いを新たにしたところでした。ぜひ、ご覧になられてください。



## 6年生「笑育(わらいく)」漫才発表会!

12月19日(月)に、「笑育」漫才発表会を本校体育館で行いました。当日は、6年生15組のコンビやトリオが、体育館のステージの上でこれまで練習してきた漫才に挑戦しました。大阪の漫才コンビ「セバスチャン」と「コンチエルト」の4人が、良かったところを認めながら励ましてくださいました。



6年生「笑育」漫才発表会の様子

思春期に入った6年生が、多くの人の前で芸を披露するというのは、緊張もしますし、恥ずかしいだろうと思います。しかし、そんな心の葛藤に打ち勝ち、自分たちで発想したことを表現するという大変貴重な機会であったと思います。お忙しい中、この事業を企画していただいた菊池市教育委員会や松竹芸能の皆さんに感謝いたします。

## ☆校長室から独り言35☆

リラックスした時間を大切に新しいアイデアを生み出す!～働き方改革の意義とは～

冬休みに入り、泗水小の先生方もほっと一息されていると思います。逆に保護者の皆さんは、お正月を迎える準備のうえに、お子さんへの三度の食事の用意もあり、忙しくされていることだろうと思います。

世界三大数学者の一人、アルキメデスのエピソードを紹介します。イタリアのシチリア島シラクサの王ヘロンは、金細工職人に金塊を渡して金の王冠を作らせました。しかし、金細工職人が金塊の一部を使わずに混ぜ物をして王冠を作り、私腹を肥やしているという噂が広まりました。王はアルキメデスに、王冠を傷つけずに、噂が本当かどうかを確かめるように命令しました。

さすがのアルキメデスも、どうしたものかと考えめぐねていましたが、この難問の答えを発見したのは、なんとお風呂に入っているときでした。王が金細工職人に渡したのと同じ金塊を用意して、金塊と王冠のそれぞれを水を張った容器に入れます。素材も重量も同じであれば、体積も同じはずですから、容器からあふれる水の量が同じかどうかで確かめることができると考えました。このアイデアが思いついて興奮したアルキメデスは、裸のまま「エウレカ!エウレカ!(分かった!分かった!)」と叫びながら王のもとに走ったと言われています。

結局、金細工職人は混ぜ物をしていたことがわかり、死刑にされました。この話は「黄金の王冠」と呼ばれ、原理は「アルキメデスの原理」と言われています。現在でも、金やプラチナの含有量を調べる手段として、「アルキメデスの原理」が使われています。

ここから見てくることは、アルキメデスは、自宅でリラックスしているときに世紀の大発見をしたということです。人間の脳の働きは止まることはないと言われています。人間は生活の中で、様々なことを学び、自分を形作っています。アルキメデス的に「働く」ということは、自分の仕事以外にもあらゆるものに興味を持ち、身の回りのことに目を向け、少しのリラックスの時間を大切にすることだと思ひます。それによって、「業務時間外に業務のことを無意識の中で考え、そこで、ふといいアイデアが生まれる」ということにつながり、働くことへの意欲が高まり、仕事の能率も向上するのではないかと私は思ひます。

だからこそ、「子どもと向き合うための『働き方改革』」が今、私たち教師に求められているのです。